

糖質科学で未来を創る

2016年3月期 第2四半期 決算説明



<http://www.ehiza.jp/>



生化学工業株式会社

(証券コード: 4548)

2016年3月期第2四半期 業績の概要

(百万円)	'16.3期 第2Q実績	前年同期比		期首予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	15,954	+1,706	+12.0%	+204	+1.3%
営業利益	2,050	+486	+31.1%	+300	+17.2%
経常利益	2,575	+465	+22.1%	+325	+14.5%
四半期純利益	1,941	+253	+15.0%	+241	+14.2%
研究開発費 (対売上高比率)	3,749 (23.5%)	+351 (-0.3pt)	+10.3%	+99 (+0.3pt)	+2.7%
期中平均為替レート (1US\$)	121.80円	+18.75円		+3.80円	

	'16.3期 第2Q実績	前年同期	期首予想
一株当たり四半期純利益	34.18円	29.71円	29.93円

2016年3月期第2四半期 セグメント別売上高

(百万円)	'16.3期 第2Q実績	前同比	増減率
売上高	15,954	+1,706	+12.0%
医薬品事業	13,201	+1,435	+12.2%
国内医薬品	8,709	+45	+0.5%
海外医薬品	3,830	+1,381	+56.4%
医薬品原体	661	+9	+1.4%
LAL事業	2,753	+270	+10.9%
(海外売上高)	6,013	+1,694	+39.2%

* 売上高全体への為替影響: 約+910百万円

国内医薬品

➤ アルツ(関節機能改善剤)

後発品使用促進の影響により前年同期並み



アルツ:
ヒアルロン酸を主成分
とする関節機能改善剤

➤ オペガン(眼科手術補助剤)

競合が厳しく微減



オペガン:
主に白内障手術で
用いられる眼科手術
補助剤

➤ ムコアップ(内視鏡用粘膜下注入材)

医療機関納入本数が増加

当社売上は前年同期の出荷が
高水準だった反動を受け減少

2016年3月期第2四半期 セグメント別売上高

(百万円)	'16.3期 第2Q実績	前同比	増減率
売上高	15,954	+1,706	+12.0%
医薬品事業	13,201	+1,435	+12.2%
国内医薬品	8,709	+45	+0.5%
海外医薬品	3,830	+1,381	+56.4%
医薬品原体	661	+9	+1.4%
LAL事業	2,753	+270	+10.9%
(海外売上高)	6,013	+1,694	+39.2%

* 売上高全体への為替影響: 約+910百万円

海外医薬品

▶アルツ類(複数回投与)

●米国SUPARTZ:

現地販売は前年同期並み
当社売上はブランド名変更*に伴う
新包装品の先行出荷や円安により増加

*2015年10月よりブランド名を「SUPARTZ FX」に変更

●中国ARTZ:

現地販売がほぼ横ばいに留まる
当社売上は販社の在庫調整に加え
円安もあり増加

▶米国Gel-One(単回投与)

現地販売、当社売上ともに増加



Gel-One®:
単回投与の関節機能改善剤

2016年3月期第2四半期 セグメント別売上高

(百万円)	'16.3期 第2Q実績	前同比	増減率
売上高	15,954	+1,706	+12.0%
医薬品事業	13,201	+1,435	+12.2%
国内医薬品	8,709	+45	+0.5%
海外医薬品	3,830	+1,381	+56.4%
医薬品原体	661	+9	+1.4%
LAL事業	2,753	+270	+10.9%
(海外売上高)	6,013	+1,694	+39.2%

* 売上高全体への為替影響: 約+910百万円

医薬品原体

ヒアルロン酸の減少をコンドロイチン硫酸の増加で補い、ほぼ前年同期並み

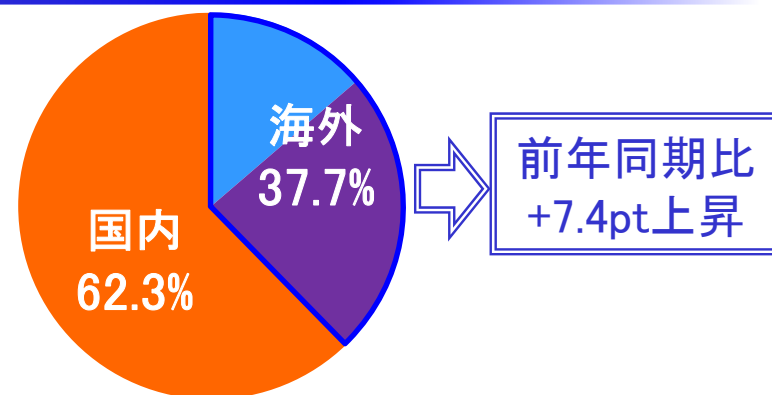
* 医薬品原体:

医薬品向けの高純度、高品質な
ヒアルロン酸およびコンドロイチン硫酸

LAL事業

海外におけるエンドトキシン測定用試薬等の
数量増および円安により増加

海外売上高比率



■ 海外LAL・原体 ■ 海外医薬品 ■ 国内売上高

2016年3月期第2四半期 利益（前年同期比）

（百万円）	'16.3期 第2Q実績	前同比	増減率
売上高	15,954	+1,706	+12.0%
売上原価 （原価率）	6,544 (41.0%)	+658 (-0.3pt)	+11.2%
販管費	7,358	+561	+8.3%
研究開発費 （対売上高比率）	3,749 (23.5%)	+351 (-0.3pt)	+10.3%
営業利益 （営業利益率）	2,050 (12.9%)	+486 (+1.9pt)	+31.1%
経常利益	2,575	+465	+22.1%
四半期純利益	1,941	+253	+15.0%
減価償却費	1,567	+363	+30.1%

営業利益

原価率(-0.3pt):

高萩工場第5製剤棟の減価償却費が増加した一方、海外医薬品の数量増や円安効果等により改善

販管費(+561):

- 研究開発費: 米国SI-6603等の開発テーマ進展に伴い増加

四半期純利益

営業外損益(-20):

保有外貨建資産の為替評価益が減少(-75)

法人税等(+211):

前期にあった一過性の税率低減要因が終了し、税率上昇(+4.6pt)
(前同期 20.0%→'16.3期第2Q 24.6%)

2016年3月期第2四半期 業績（期首予想比）

（百万円）	'16.3期 第2Q実績	期首予想比	増減率
売上高	15,954	+204	+1.3%
【医薬品事業】	13,201	+51	+0.4%
国内医薬品	8,709	-40	-0.5%
海外医薬品	3,830	+130	+3.5%
医薬品原体	661	-38	-5.5%
【LAL事業】	2,753	+153	+5.9%
営業利益 (営業利益率)	2,050 (12.9%)	+300 (+1.8pt)	+17.2%
経常利益	2,575	+325	+14.5%
四半期純利益	1,941	+241	+14.2%
研究開発費 (対売上高比率)	3,749 (23.5%)	+99 (+0.3pt)	+2.7%

売上高

- 国内医薬品：国内アルツが下振れ
 - 海外医薬品：中国ARTZが下回ったが
米国Gel-Oneの数量上振れ
 - LAL事業：エンドトキシン測定用試薬が増加
- * 売上高全体への為替影響：約+150百万円

営業利益

販管費(約-110)：

米国SI-6603進捗に伴い研究開発費が増加した一方、その他の販管費が減少

四半期純利益

営業外損益：

- 保有外貨建資産の為替評価益が上振れ
(+45)
- 減損損失：29百万円を計上*
* 高萩工場第2製剤棟の一部設備休止に伴う

2016年3月期 業績予想の概要

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

(百万円)	'16.3期 予想	'15.3期 実績			(参考) 第2Qまでの 進捗率
		金額	増減額	増減率	
売上高	30,650	29,522	+1,127	+3.8%	52.1%
営業利益	2,400	2,383	+16	+0.7%	85.4%
経常利益	3,800	4,008	-208	-5.2%	67.8%
当期純利益	2,900	3,650	-750	-20.6%	66.9%
研究開発費 (対売上高比率)	7,850 (25.6%)	8,146 (27.6%)	-296 (-2.0pt)	-3.6%	47.8%
期中平均為替レート (1US\$)	118.00円	109.94円	+8.06円		

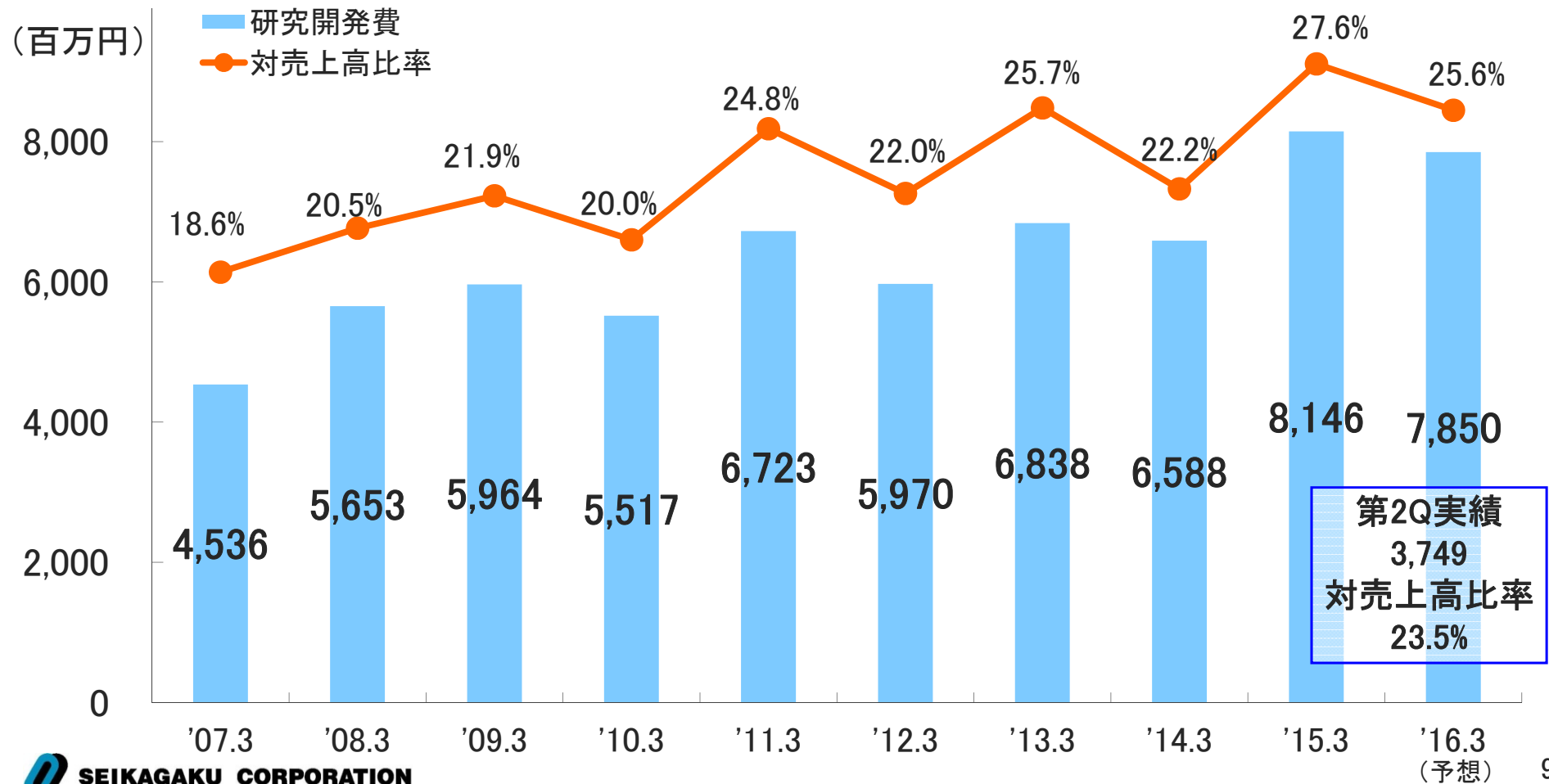
	'16.3期 予想	'15.3期 実績
一株当たり当期純利益	51.05円	64.27円
一株当たり年間配当金	26.00円	26.00円
配当性向	50.9%	40.5%

為替感応度 (US\$ 1円変動時の年間影響額)	
売上高	約95百万円
営業利益	約35百万円

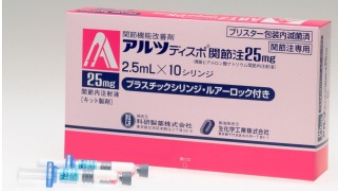
研究開発費の推移


* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2016.3期は米国SI-6603のオープン試験などの進展により
引き続き高水準で推移



国内医薬品の販売状況 (医療機関納入本数ベース/前年同期比)

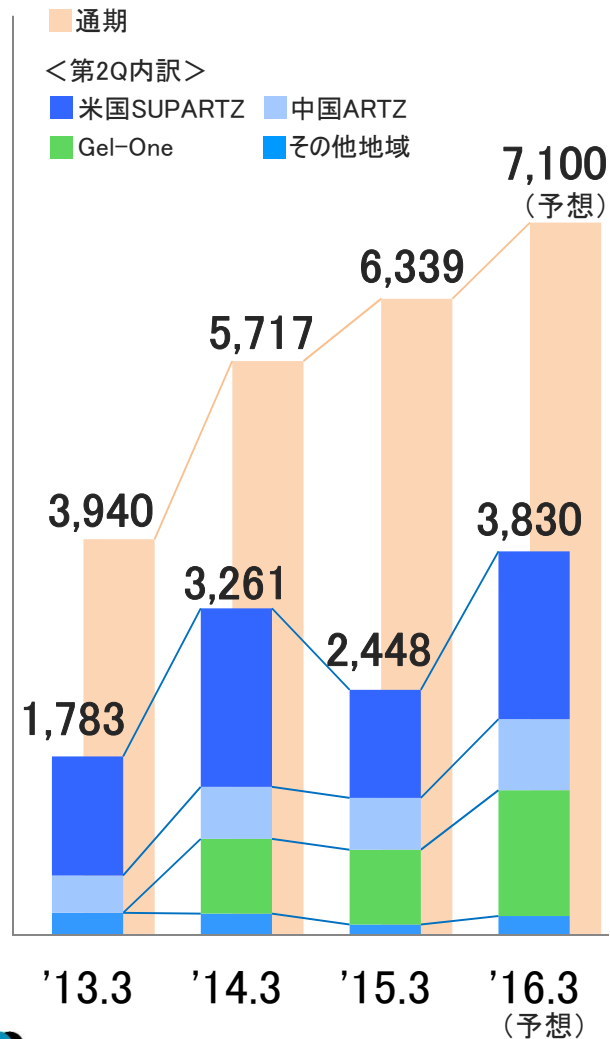
	'16.3 期 第2Q実績	'16.3 期 予想	
関節機能改善剤 アルツ	後発品使用促進の 影響を受け微減	<ul style="list-style-type: none"> ● 重点地域を選定した営業活動を実施 ● 競合品からのシェア獲得 	
	アルツ伸び率: -0.8% (市場伸び率: +0.1%) 市場シェア: 57.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● アルツ伸び率 +0.6%(予想) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場シェア 57.5%(予想)

	'16.3 期 第2Q実績	'16.3 期 予想	
眼科手術補助剤 オペガン	厳しい競争のなか 市場シェア減少	<ul style="list-style-type: none"> ● 販促資材活用や情報提供活動など プレゼンス向上施策を推進 	
	オペガン伸び率: -1.4% (市場伸び率: +1.5%) 市場シェア: 33.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● オペガン伸び率 +0.2%(予想) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市場シェア 33.7%(予想)

海外医薬品の販売状況（金額ベース／前年同期比）

海外医薬品の売上推移

(百万円)



'16.3 期 第2Q
+56.4%

数量増に加え、円安効果もあり増加

※為替影響: +約5.6億円

アルツ類(複数回投与)

- 米国SUPARTZ: 販社努力により現地販売は前年同期並み
- 中国ARTZ: 政府による価格政策変更の影響もあり、ほぼ横ばい
- ▶ 当社輸出: 販社が在庫水準を高めたことや円安効果により増加

Gel-One(単回投与)

- 現地販売、当社売上ともに増加

'16.3 期 予想
+12.0%

Gel-One・中国ARTZの増加に加えて円安効果も見込む

アルツ類(複数回投与)

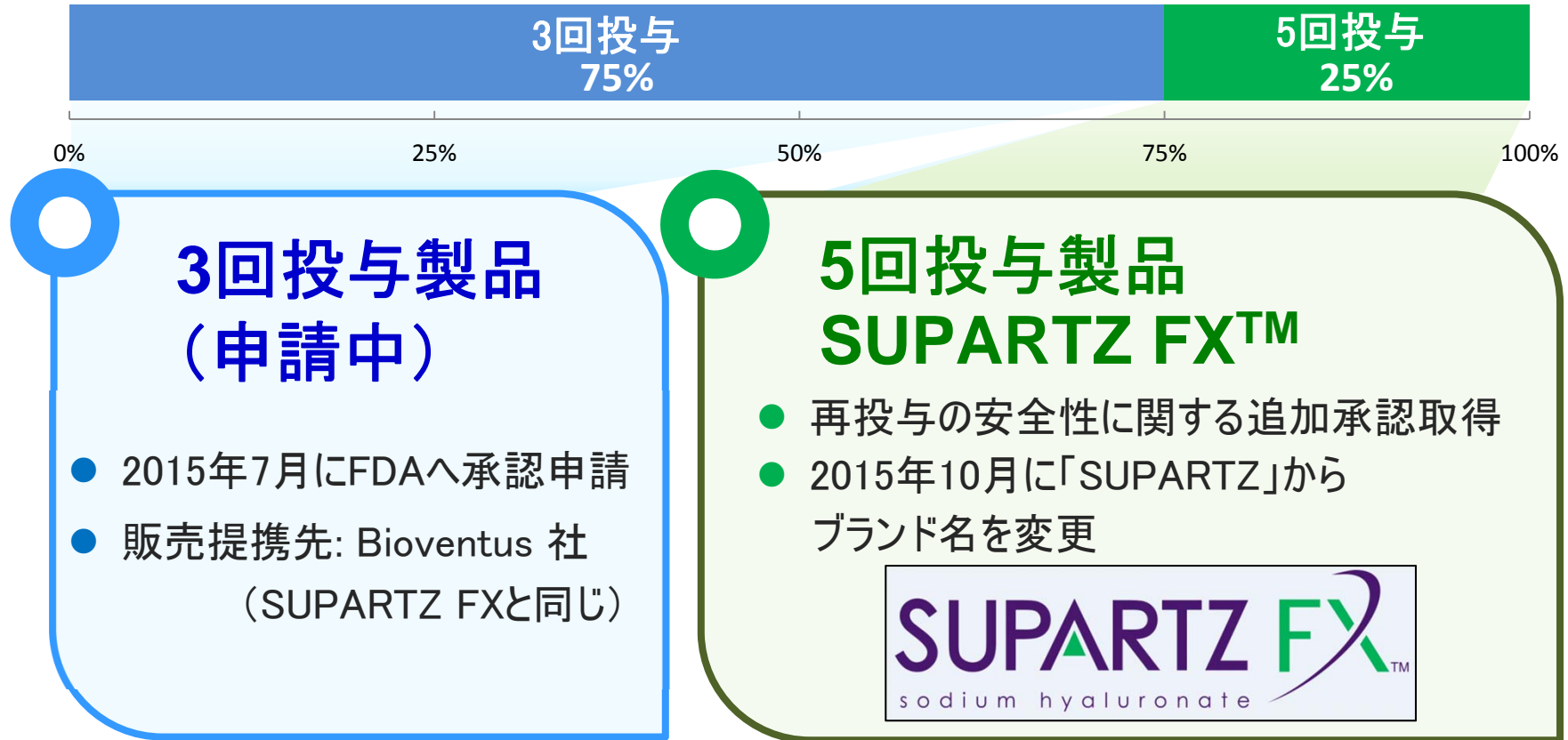
- 米国SUPARTZ: 前期並みで推移
- 中国ARTZ: 現地動向を注視しつつ継続的成長を目指す
- ▶ 当社輸出: 中国アルツでの伸びに加え円安効果もあり増加

Gel-One(単回投与)

- 販社の営業力強化により更なる数量増加を目指す

米国における製品ラインナップ強化策

■ 米国の複数回投与製品におけるシェア内訳 (2014年、当社推計)



米国における製品ラインナップを拡充し
生化学工業製品のプレゼンス強化を図る

Gel-Oneの課題と今後の取り組み

Gel-Oneの課題

- ◆ 製品認知度が低い
- ◆ 市場浸透のペースが想定より遅い

◆ 生化学工業：米国市場に特化した組織の新設

- 2014年10月：米国駐在員事務所新設
- 2015年 5月：本社内に北米戦略室新設

- 販売戦略の立案
- 現地営業活動のモニタリング強化

◆ Zimmer Biomet社：営業力の強化

- 2015年 6月：合併にあわせ、専任販売員を増員

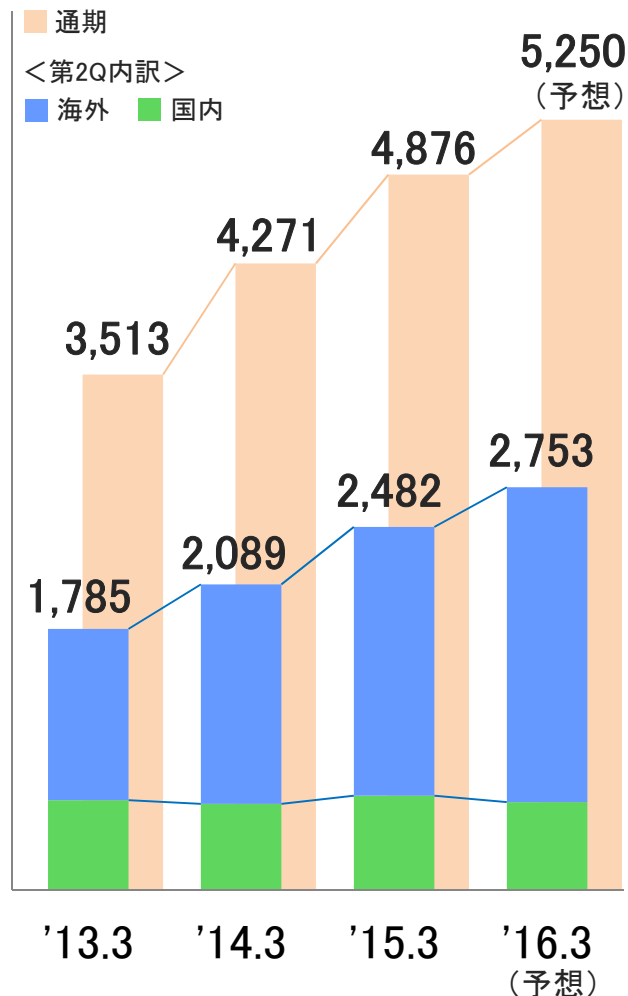


合併により拡充した現地営業体制を支援し
Gel-Oneのシェア拡大を加速させる

LAL事業の販売状況（金額ベース／前年同期比）

LAL事業の売上推移

（百万円）



'16.3 期 第2Q実績: +10.9% (前年同期比)

海外

医薬品メーカー等で使用する品質管理用エンドトキシン測定用試薬や体外診断薬の数量増加および円安効果が寄与

国内

出荷時期の影響により微減

'16.3 期 予想: +7.7% (前期比)

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

海外

エンドトキシン測定用試薬、体外診断薬の堅調な推移を見込む

国内

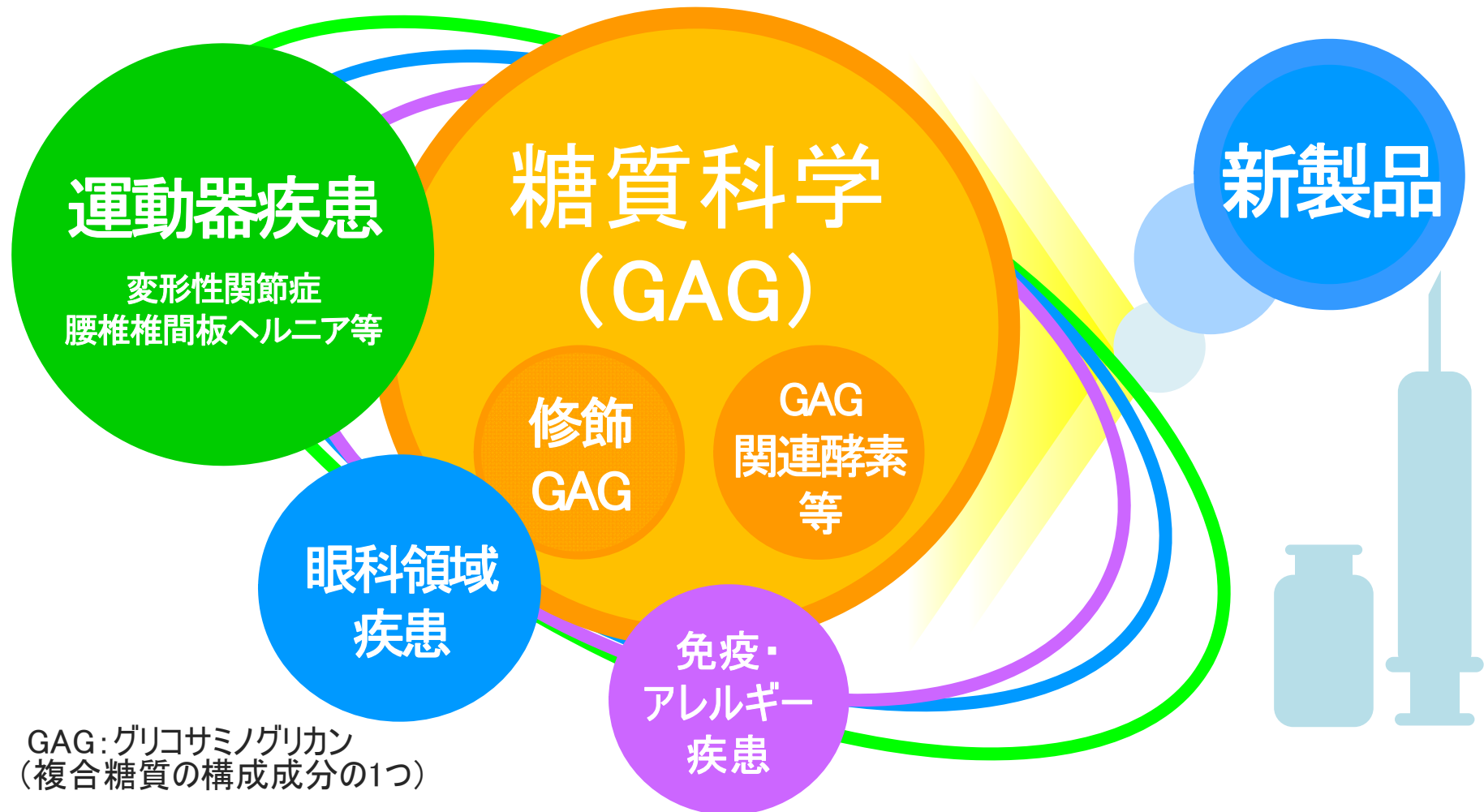
キャンペーン施策などにより試薬関連機器の増加を見込む

LAL事業: 医薬品・医療機器の品質管理に使用される
エンドトキシン測定用試薬*などを製造・販売

* エンドトキシン測定用試薬: Limulus Amebocyte Lysate (LAL: カプトガニ血球抽出液) を主成分とする試薬。エンドトキシンは、細菌に由来する物質であり、ごく微量で発熱を引き起こすため、医薬品等では混入の有無を試験することが義務付けられている。

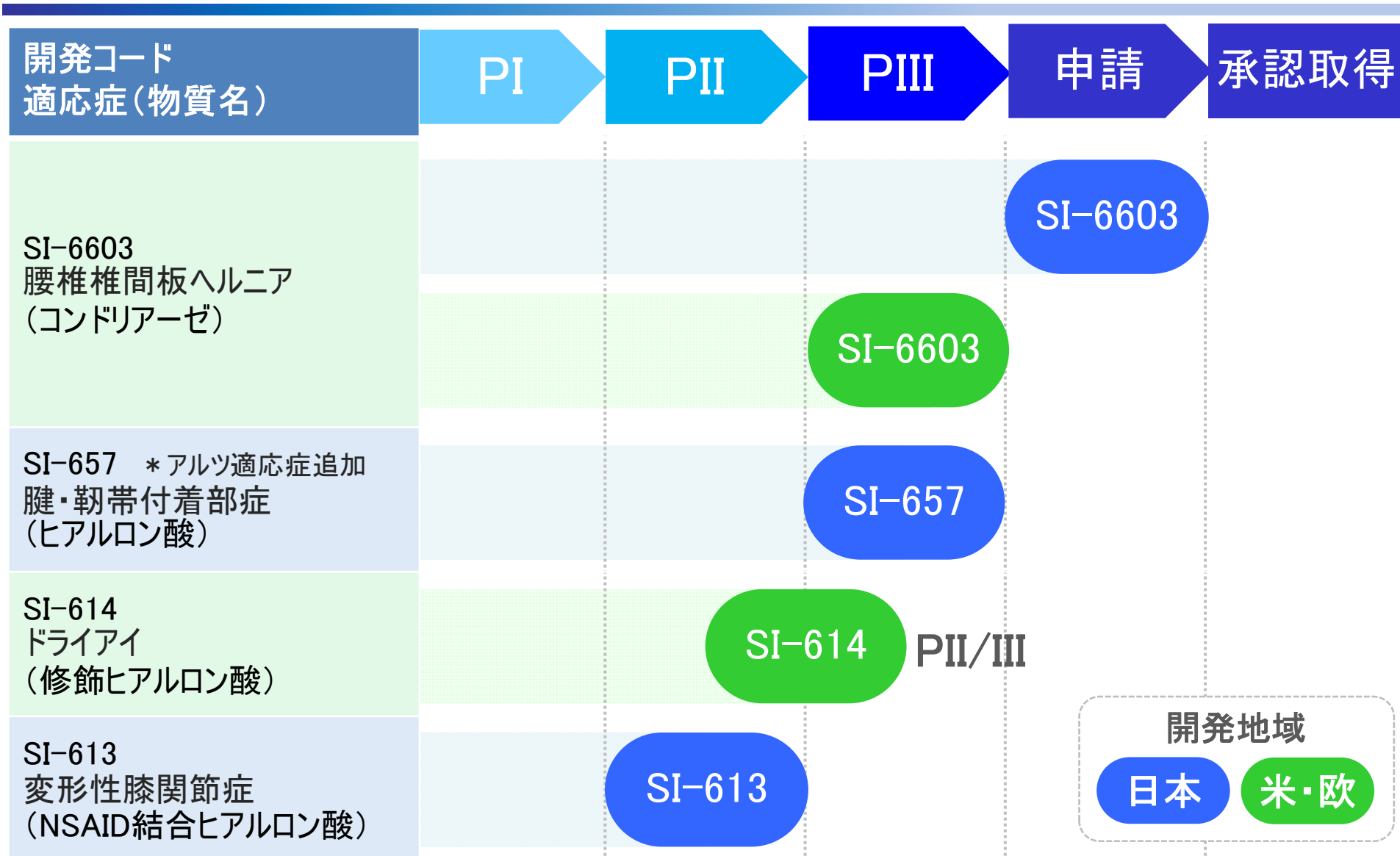
研究開発基本方針

- 専門分野である糖質科学に焦点を絞り、医療ニーズが高い新製品の早期かつ継続的な上市を目指す



GAG: グリコサミノグリカン
(複合糖質の構成成分の1つ)

パイプラインリスト

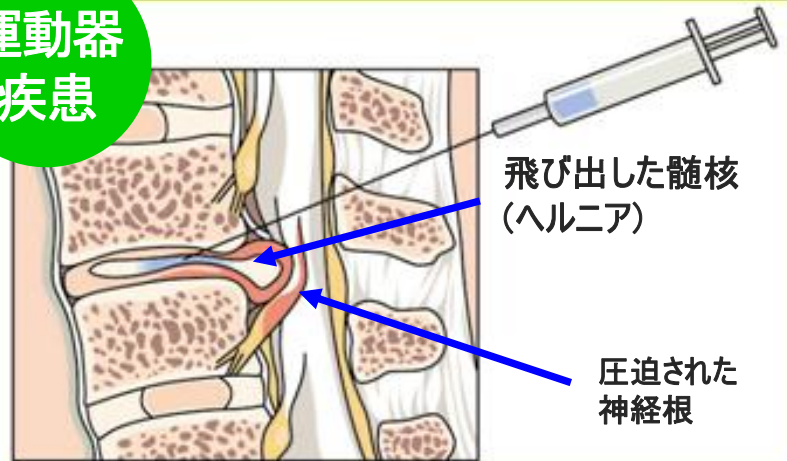


※SI-615(関節リウマチ治療剤・導入テーマ)は、2015年8月に当社における開発を中止。

SI-6603 (腰椎椎間板ヘルニア治療剤) の概要

ヘルニアを縮小させることで、神経への圧迫を減少し痛みを軽減

運動器
疾患



- 物質名 : コンドリアーゼ
- 適応症 : 腰椎椎間板ヘルニア
- 用法 : 椎間板への注射
(X線透視下で投与)

特徴:

- 髄核の主要成分GAG(コンドロイチン硫酸等)を特異的に分解することで、ヘルニアによる神経圧迫を減少させ、痛みを軽減する
- タンパク質分解能を有しないため、血管・神経等への有害作用がない
- 1回の注射で摘出手術の代替療法となることが期待される

日本: 申請中

- 2014年1月 : 承認申請 審査継続中
- 学会で試験結果を発表
2014年11月: 第29回北米脊椎学会(サンフランシスコ)
2015年 4月: 第44回日本脊椎脊髄病学会(福岡)
2015年 9月: 欧州脊椎外科学会議(コペンハーゲン)

米・欧: PIII

- 2015年 4月: 安全性評価を主目的としたオープン試験を開始
- 2015年 7月: PIIIの症例登録完了

SI-657（アルツ適応症追加）の概要

腱・靭帯付着部症の諸症状を改善し、疼痛抑制効果を発揮

運動器
疾患

日本：PIII

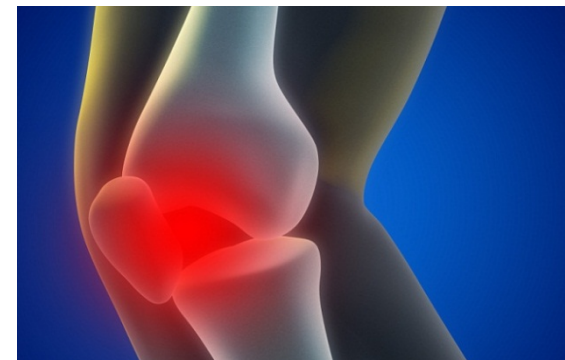
- 2015年 1月：経過観察終了
⇒ 現在、今後の開発方針を検討中



・上腕骨外側上顆炎
(テニス肘)



・アキレス腱付着部症
・足底腱膜炎



・膝蓋腱炎
(ジャンパー膝)

- 物質名：ヒアルロン酸（アルツの適応症追加）
- 適応症：腱・靭帯付着部症（4疾患を対象）
- 開発形態：科研製薬との共同開発

4疾患合計の
年間受診患者数：
約57万人

アルツのさらなる製品付加価値向上に取り組むことで、
より多くの患者さんの症状改善に寄与することを目指す

SI-614（ドライアイ治療剤）の概要

眼表面保護作用と角膜創傷治癒促進作用により
ドライアイの諸症状を改善

眼領域
疾患



- 物質名：SI-614（修飾ヒアルロン酸）
- 適応症：ドライアイ
- 用法：点眼

米・欧：PII/III

- 2015年 1月：PII/III試験が終了
⇒次相試験について検討中

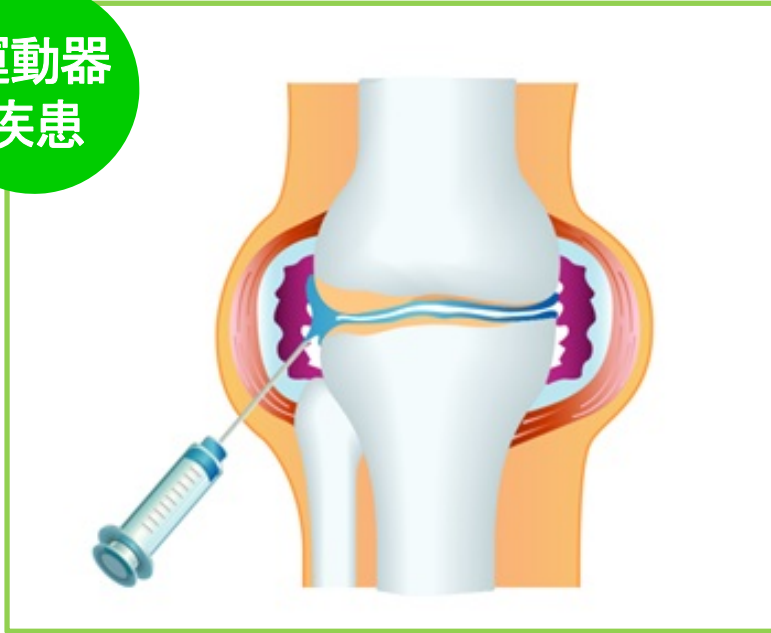
特徴：

- 当社独自のヒアルロン酸修飾技術を用いて創生した化合物
- ドライアイ患者の眼表面保護作用と角膜創傷治癒促進作用により、ドライアイの諸症状を改善することが期待される
- ドライアイは、多因子疾患であるものの、米国では副作用が強い免疫抑制剤の選択肢しかなく、新規かつ安全性の高い治療オプションを提供することが可能

SI-613（関節機能改善剤）の概要

変形性膝関節症に伴う強い痛みや炎症を速やかかつ持続的に改善

運動器
疾患



- 物質名：SI-613
(NSAID*¹結合ヒアルロン酸)
- 適応症：変形性膝関節症
- 用法：関節腔内への注射

日本：PII

- 2014年10月：PII 試験（反復投与）
の治験届提出
- **2015年 7月：症例登録完了**

特徴：

- 変形性膝関節症に見られる強い痛みや炎症を軽減するため、当社独自の薬剤結合技術を用いてヒアルロン酸とNSAID*¹を結合
- 強い痛みや炎症を長期間改善するためNSAIDを徐放化*²
- NSAIDの経口剤・局所投与と比較し、副作用が極めて少ない
- 日本のみならず米国を含むグローバル展開を目指す

*¹ NSAID: 非ステロイド性抗炎症薬(Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drug)

*²徐放化: 薬物の有効成分が徐々に放出されるよう調節し、治療効果を長期間持続させること

利益配分に関する基本方針

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

● 剰余金の配当

1株当たり年間26円を基本とし、安定的かつ継続的な配当を目指す

● 内部留保

中長期的な視野に基づいた研究開発、設備投資等に充てる

● 機動的な資本政策

資本効率の向上を目的として、自己株式の取得等を適宜検討する

	'12.3期	'13.3期	'14.3期	'15.3期	'16.3期 (予想)
一株当たり当期純利益	57.58円	57.33円	83.55円	64.27円	51.05円
一株当たり年間配当金	25.00円	25.00円	26.00円	26.00円	26.00円
配当性向	43.4%	43.6%	31.1%	40.5%	50.9%

参考資料

生化学工業10年ビジョンと中期経営計画

10年ビジョン “グローバル・カテゴリー・ファーマ”
糖質科学に研究開発の焦点を絞って、国際競争力を確立する

ACT for the future

Advance・Challenge・Transparency

10年ビジョン達成に
向けた萌芽形成

基礎体力の養成と
体制の構築

Step 1

2010.3期 ~ 2012.3期

Step 2

2013.3期 ~ 2016.3期

ビジョン実現

Step 3

2017.3期 ~ 2019.3期

設備投資の推移

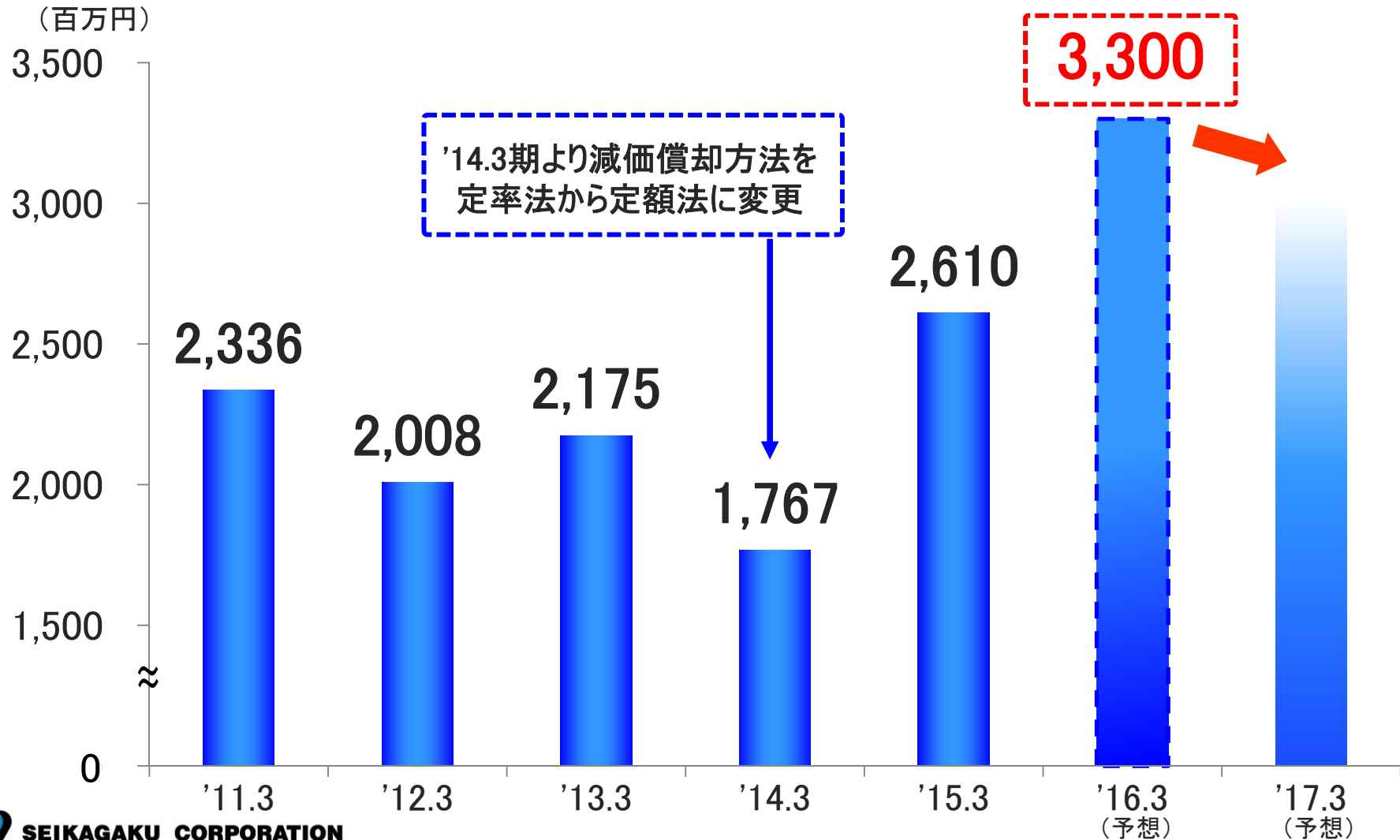
* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

設備名	投資額	'11.3	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3 (予想)
SI-6603原薬 製造設備	11億円					着工 '14.10	
第5製剤棟 (アルツディスポ用)	96億円		着工 '12.3				稼働 '15.1
ヒアルロン酸 原体製造設備	31億円		着工 '12.1			稼働 '14.2	
Gel-One設備	30億円		着工 '11.12			稼働 '13.10	
コンドロイチン硫酸 原体製造設備	12億円	着工 '11.6		稼働 '12.7			
設備投資額(百万円)		1,306	5,718	9,164	7,222	2,095	2,600

減価償却費の推移

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

設備投資積極化により、減価償却費は 2016.3期の33億円がピーク



2016年3月期 業績予想(売上高)

(百万円)	'16.3期 予想	'15.3期 実績	
		増減額	増減率
売上高	30,650	+1,127	+3.8%
医薬品事業	25,400	+753	+3.1%
国内医薬品	16,950	+51	+0.3%
海外医薬品	7,100	+760	+12.0%
医薬品原体	1,350	-57	-4.1%
LAL事業	5,250	+373	+7.7%
(海外売上高)	11,150	+1,152	+11.5%

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

売上高

円安効果に加え、海外医薬品の伸びにより増加を見込む

医薬品事業

国内医薬品:

- 前期並みを見込む

海外医薬品:

- Gel-One・中国ARTZの出荷数量増加に加え、円安も寄与

LAL事業

米国子会社売上が増加

* 売上高全体への為替影響: 約+870百万円

2016年3月期 業績予想(利益)

(百万円)	'16.3期 予想	'15.3期 実績	
		増減額	増減率
売上高	30,650	+1,127	+3.8%
営業利益 (営業利益率)	2,400 (7.8%)	+16 (-0.3pt)	+0.7%
経常利益	3,800	-208	-5.2%
当期純利益	2,900	-750	-20.6%
原価率	41.8%	+0.7pt	
研究開発費 (対売上高比率)	7,850 (25.6%)	-296 (-2.0pt)	-3.6%
減価償却費	3,300	+689	+26.4%

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

利益

研究開発費は減少するものの、償却費増加や一過性の税率低減要因が終了し、最終減益

営業利益

原価(約+650):

- 新生産設備の償却費が増加

販管費(約+450):

- 研究開発費の減少を見込む
- Gel-One等の販売関連費用が増加

当期純利益

営業外損益減少(約-200):

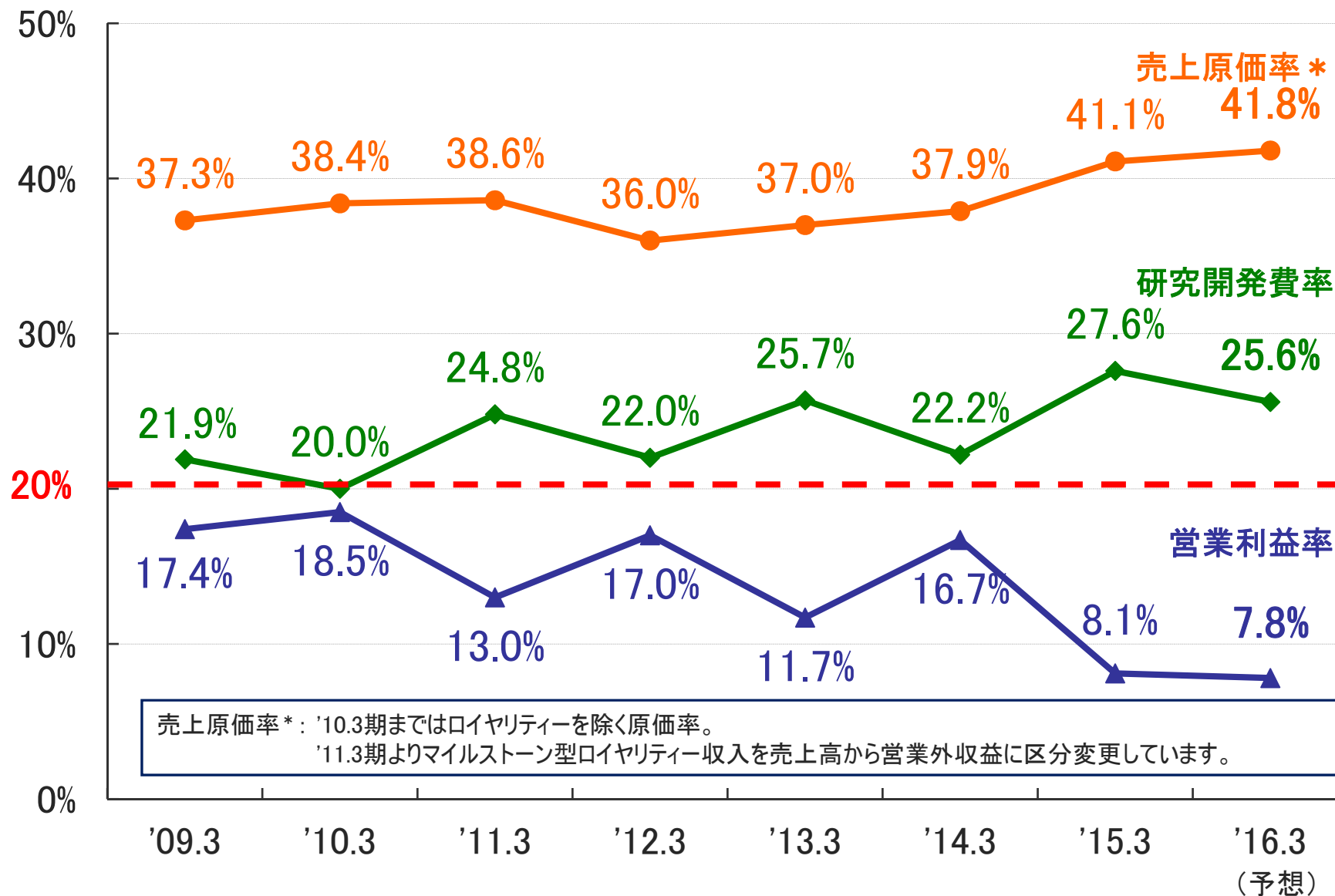
- 受取ロイヤリティー増加を見込む一方、為替評価益等が減少

税率上昇:

- 一過性の低減要因が終了

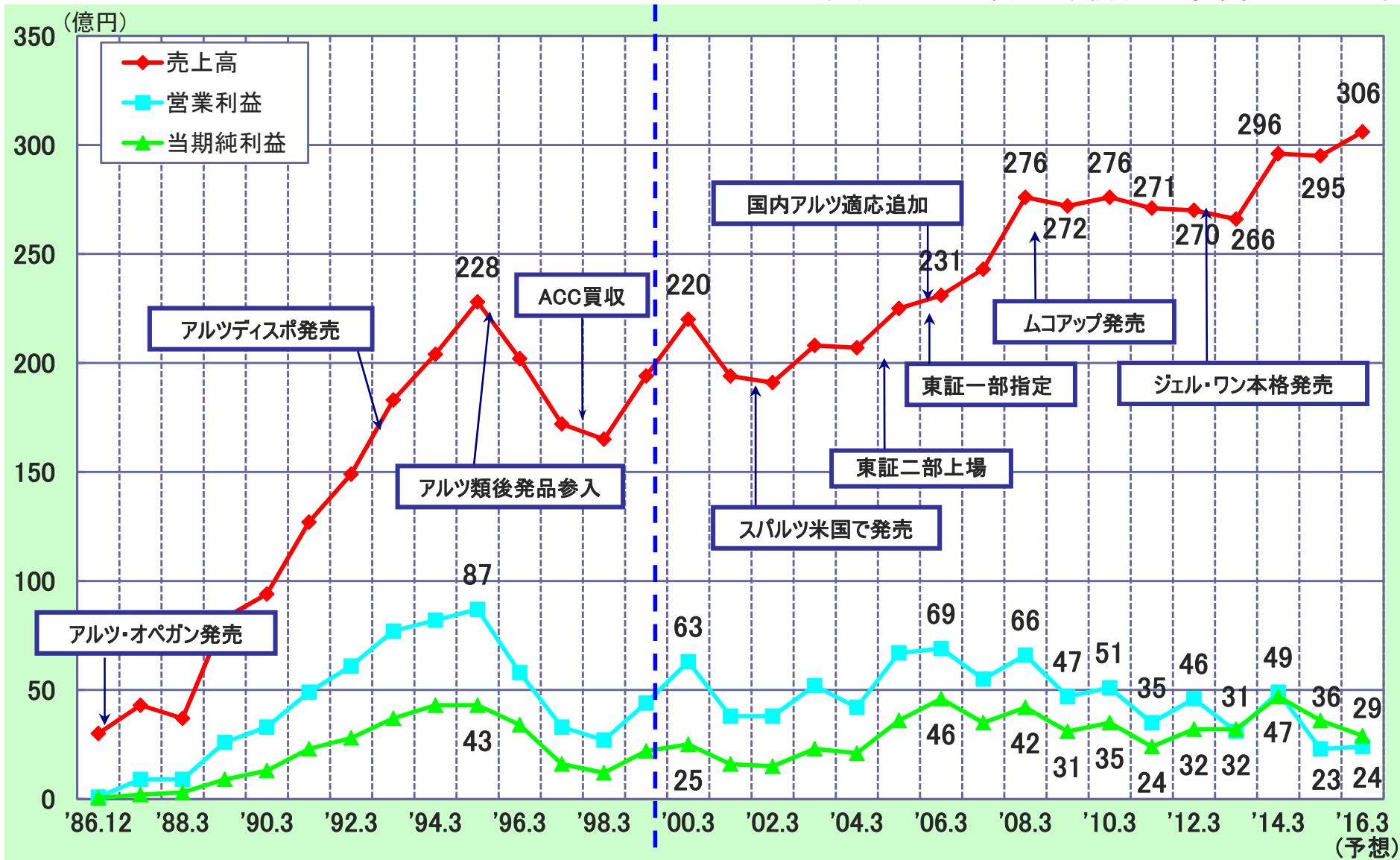
主な経営指標の推移

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

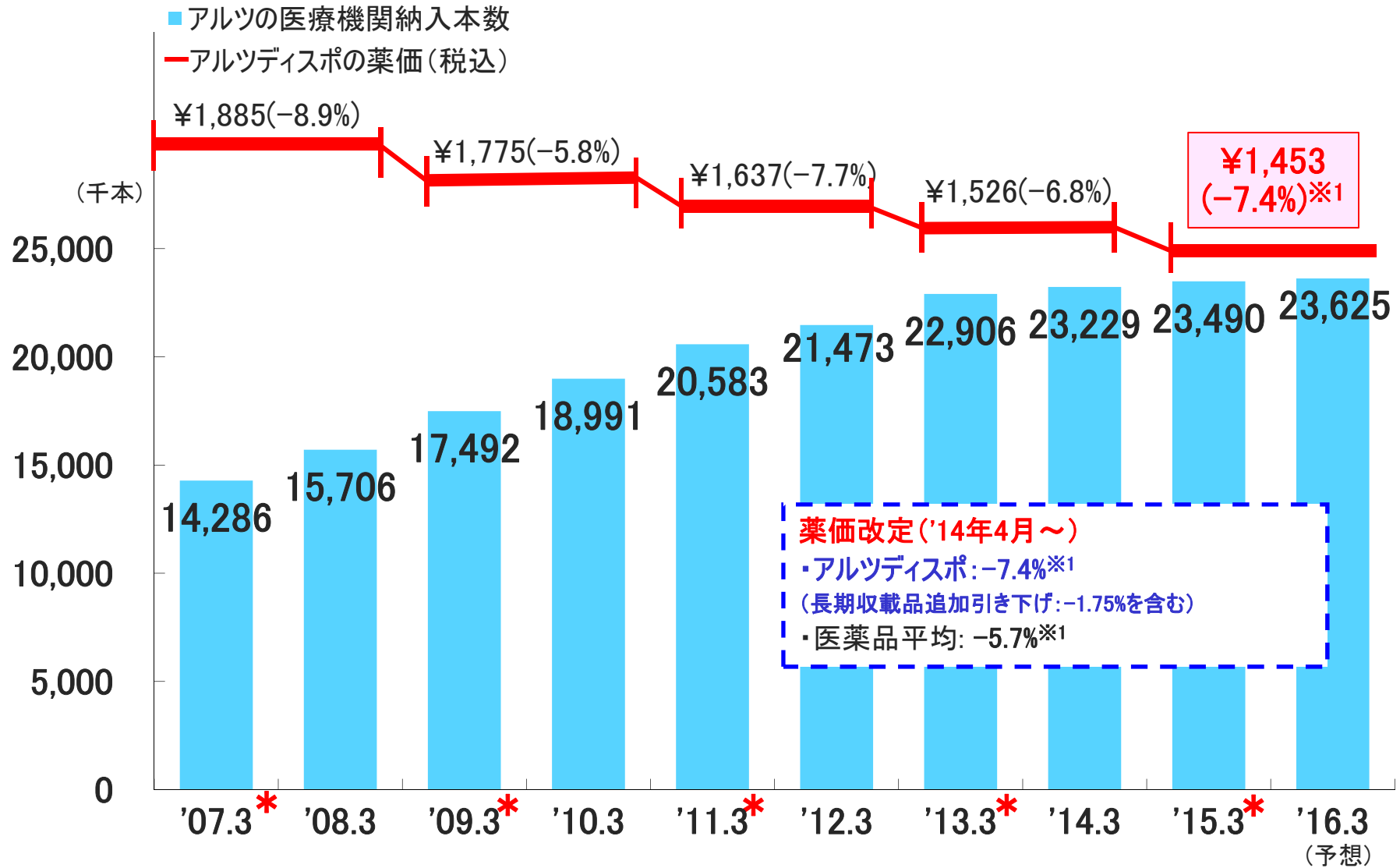


業績の推移と主なトピックス

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。



アルツの医療機関納入本数と薬価の推移



※1: 改定率は、消費税増税の影響を除いた実質改定率

* 薬価改定年

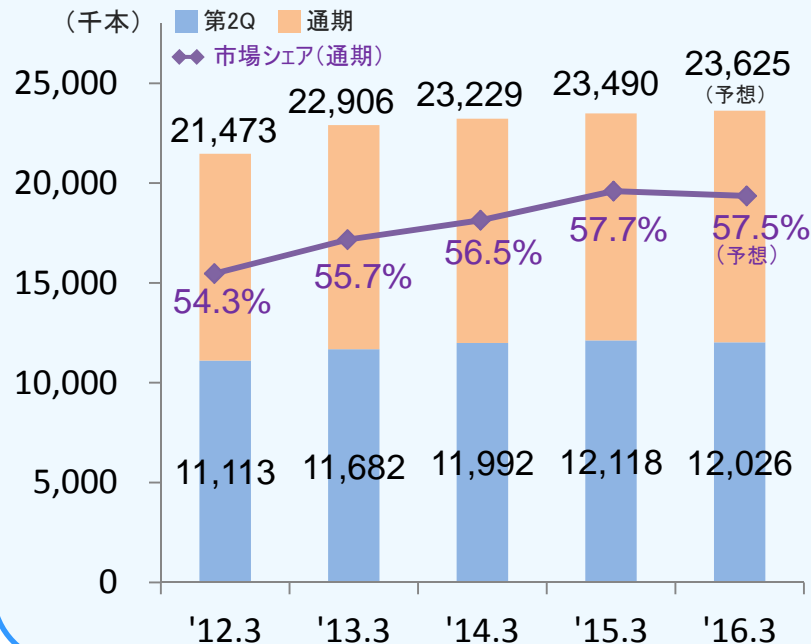
国内医薬品の医療機関納入本数推移

関節機能改善剤 アルツ



- 世界初のヒアルロン酸を主成分とした関節機能改善剤
- 変形性膝関節症における症状を改善
- 販売提携先: 科研製薬株式会社

医療機関納入本数の推移

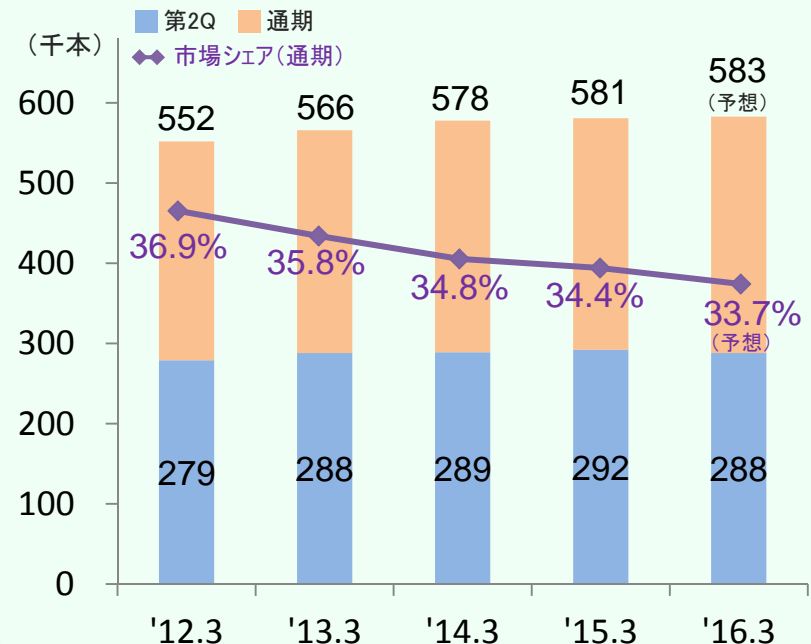


眼科手術補助剤 オペガン



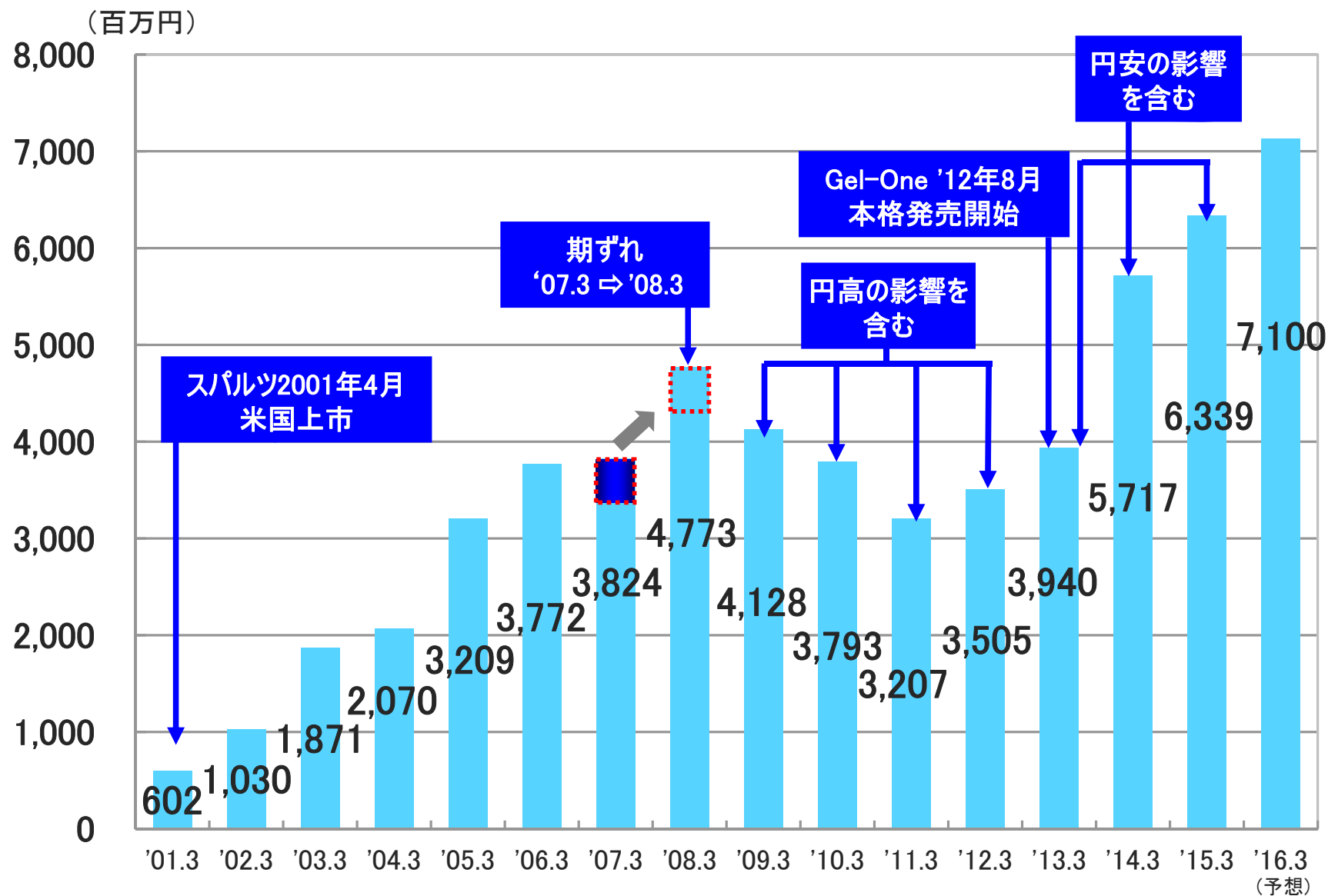
- 国産初のヒアルロン酸製剤
- 白内障手術の際に用いられ
眼内空間を保持して手術をサポート
- 販売提携先: 参天製薬株式会社

医療機関納入本数の推移



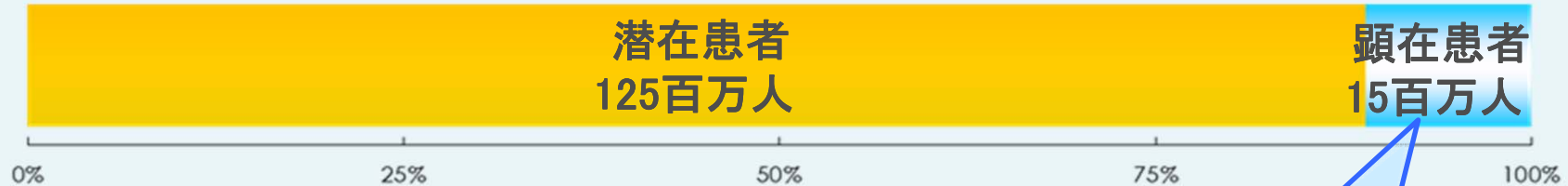
海外向けヒアルロン酸製剤の販売推移

* 2015年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。



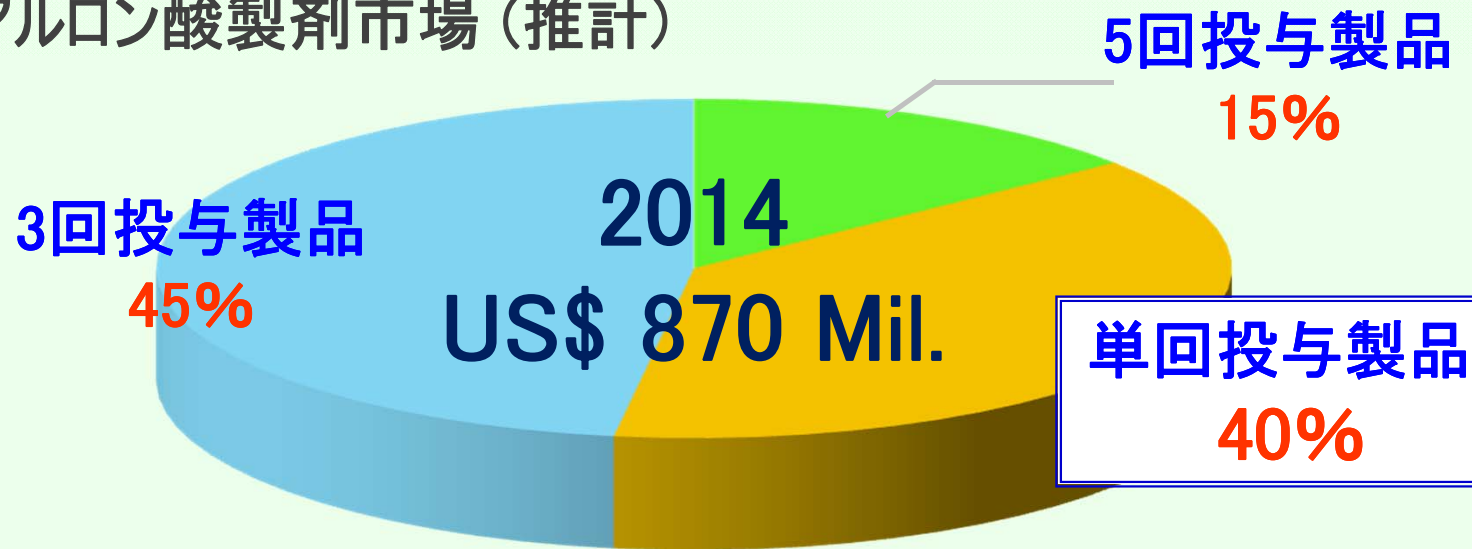
米国におけるヒアルロン酸製剤の市場状況

変形性ひざ関節症の患者数(推計)



顕在患者のうち、ヒアルロン酸製剤の使用比率は1割弱
⇒大きな拡大余地が残されている

ヒアルロン酸製剤市場(推計)



* 数値は当社推計

米国での事業拡大にむけた施策



製品認知度向上策

- 医師向け広告や患者さん向けモバイルアプリをリリース

製品価値向上策

- Gel-One/SUPARTZ ラベル変更臨床試験



複数回投与製品
SUPARTZ FX™

販売促進の強化

- 製品教育/販促ツール作成
- 償還可能チャネルの販促強化



単回投与
製品
Gel-One®

LAL事業の拡大

- 新製品開発や営業強化による競合からのシェア獲得

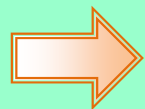


エンドトキシン
測定用試薬

販売提携先・
ACC社を牽引

2015年5月より **北米戦略室** を新設

- 2014年10月に**米国駐在員事務所**開設



重点地域である米国での事業展開を加速させる

米国駐在員事務所の開設

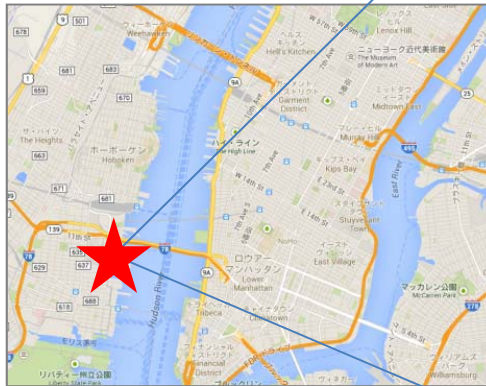


単回投与製品 Gel-One®



複数回投与製品
SUPARTZ FX™

SEIKAGAKU U.S.A. Representative Office



Jersey City, NJ



- ◆ 米国駐在員事務所の概要 ◆
- ◆ 開設日：2014年10月15日（現地時間）
- ◆ 目的：現地販売員への製品教育推進、米国市場に関する情報収集等



営業活動支援の強化により Gel-One・
SUPARTZ FXの販売をさらに加速させる

LAL事業について

LAL事業とは

医薬品等の品質管理や、病院での人工透析における
水質管理に使用される試薬*などを製造・販売

- *エンドトキシン測定用試薬: Limulus Amebocyte Lysate
(LAL: カプトガニ血球抽出液)を主成分とする試薬。
- *エンドトキシン: 細菌に由来する物質でごく微量で発熱を引き起こすため、
医薬品等では混入の有無を試験することが義務付けられている。

➤ **世界市場規模: 約200億円**
(当社推定・関連機器類含む)



エンドトキシン測定用試薬
(医薬品・医療機器の品質管理用)

Associates of Cape Cod, Inc.(ACC社)

- 生化学工業の米国子会社
(1974年設立、1997年に当社が買収)
- 1977年に世界で初めてエンドトキシン
測定用試薬を開発し、FDA承認取得
- 世界80か国に販売網を展開
- 近年の業績は堅調に推移



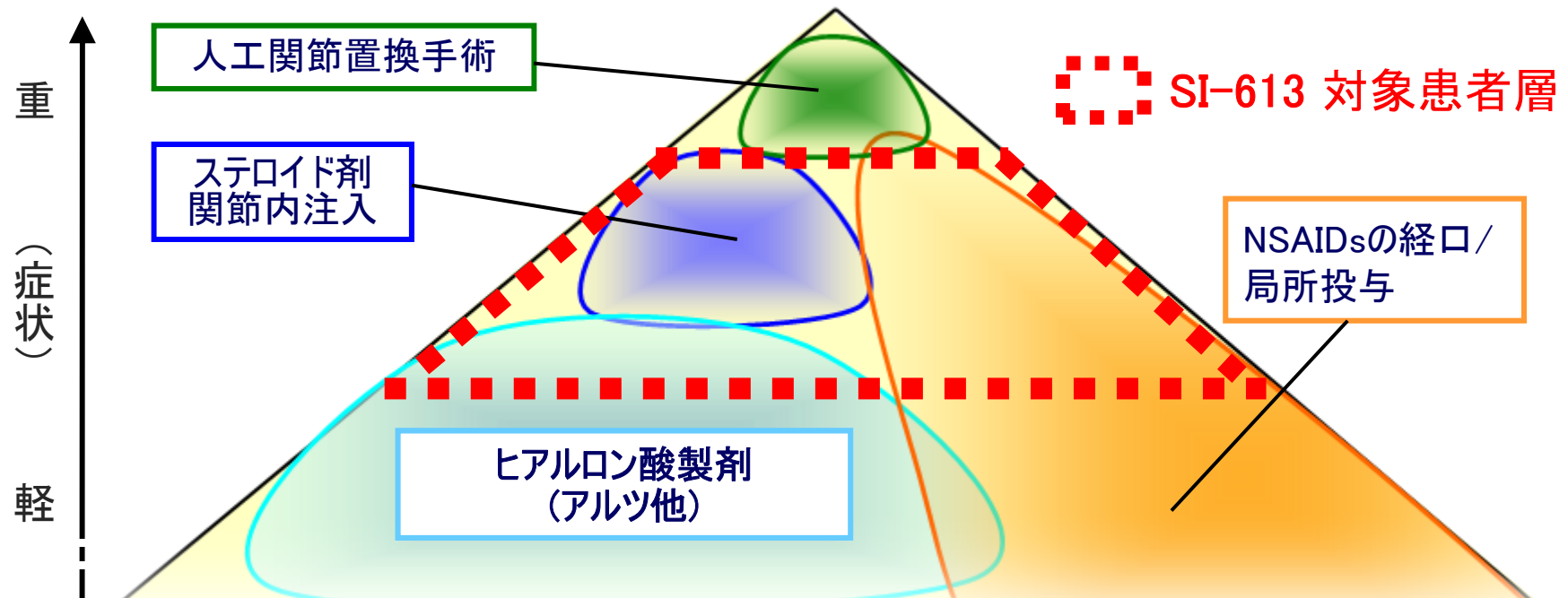
パイロクロム(PYROCHROME®)



ACC社 外観

SI-613の対象患者

強い痛みを持ちNSAIDsの経口・局所投与、またはステロイド剤の関節内注入などを処方されている患者層が対象



日本での対象市場規模 (ひざ以外の適応を含む)	NSAIDs経口剤	約1,000 億円
	NSAIDs局所製剤	約2,000 億円
	ヒアルロン酸製剤	約 520 億円
	ステロイド注射剤	約 150 億円

生化学工業の特徴

糖質科学を専門分野とする研究開発型製薬企業

1.

- 大手企業が参入し難いニッチな領域を手がけている
- この領域に焦点を合わせた研究開発を**60年以上**推進

ユニークなビジネスモデル

2.

- **研究開発**と**製造**に特化
- 全従業員のうち、**約3分の1**が研究開発要員
- 売上高の **20%以上**を研究開発費に投入

抽出及び高純度精製に関する高い技術力

3.

- 主力製品アルツは発売から**25年以上**、大きな副作用もなく、国内外で累計**3億6千万本以上**の使用実績を持つ

生化学工業の事業と製品

医薬品事業

国内医薬品
⇒57.2%

関節機能改善剤



海外医薬品
⇒21.5%

83.5%

売上高

29,522百万円

('15.3期実績)

LAL事業
16.5%

眼科手術補助剤



内視鏡用粘膜下注入材



医薬品原体
⇒4.8%

医薬品原体



エンドキシン測定用試薬
(医薬品・医療機器の品質管理用)

主力製品：ヒアルロン酸製剤

アルツ® 変形性膝関節症における症状の改善(複数回投与製品)

- 世界初のヒアルロン酸を主成分とした関節機能改善剤
- 主要販売提携先:
 - 科研製薬 (日本)
 - Bioventus (米国) : スパルツFX
 - Kunming Baker Norton Pharmaceutical (中国)



Gel-One® 変形性膝関節症における痛みの緩和(単回投与製品)

- より少量(3ml)で効果を示す単回投与製品
- 2012年8月より本格販売開始
- 販売提携先: Zimmer (米国)



糖質科学で未来を創る

■ 業績予想に関する留意点

当資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの将来に関する記述に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。



<http://www.ehiza.jp/>



生化学工業株式会社

Copyrights(C)2015 SEIKAGAKU CORPORATION. All rights reserved.